

[042] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10229>

出版情報：語文研究. 42, 1976-12-01. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

執筆者紹介

横山 正	大阪教育大学教授
高瀬 正一	九州大学大学院修士課程
今井 源衛	九州大学教授
棚町 知弥	山口大学教授
中野 三敏	九州大学助教授
南里 みち子	福岡女子短期大学講師
迫野 虔徳	熊本大学助教授
福田 益和	長崎大学助教授

編集後記

○四十二号の内容は、論文二（横山・高瀬両氏）、調査報告（今井・中野・棚町三氏）、紹介二（迫野・福田両氏）、ということになりました。高瀬氏のは処女論文でもあり、大方の御高評を期待いたします。一時九大文学部に寄託されていた秋月黒田家の蔵書が紹介されたことも、学界ならびに地方文化の上に貢献することでしょう。御寄稿の各位に謝意を表します。

○三日間にわたる学会に出席して、いざ帰ろうと駅に駆けつけたところ、運賃表がすっかり書き改められていて、往路の二倍近い金額を払わされ、思わずため息をつきました。これがまた書物代や、学術雑誌刊行に影響せねばよいかと、内心穏かではありません。研究ま

でが萎縮してはかたないませんが、ともかく「往きはよいよい帰りはこわい」とはこのことでしょうか。

○さて、来年度（昭和五十二年）の九大国語国文学会における研究発表の募集を、少し早めではありますが、本誌上を借りていたします。これは、従来、事前に発表題目等のお知らせができなかった御不満を解消するひとつの手段でもあって、ここにも郵便料金高騰などということが祟っているわけです。したがって、来年の国語国文学会の御案内には、研究発表の題目、発表者名を添えて差し上げることとなります。今度は、開講五十周年の記念をも兼ねていたしたく、何とぞ奮って御応募・御参加下さい。（春日記）
（応募要領は左の欄参照のこと）

昭和五十二年度 九州大学国語国文学会総会

（開講五十周年記念）

日時 昭和五十二年六月五日（日）午前九時三十分より
場所 九州大学文学部内

研究発表御希望の方は題目を明記の上、本会宛、五十二年三月末日迄に御申し込み下さい。